

“投句” プロバスクラブ京都 同好会「きらく会」吟行

“吟行”を三月十三日に「かのうしやうじゆあん叶匠壽庵 すな寿長生の郷さと」にて開催しました。

梅まつりの真最中で、美味な「美山つづら弁当」を頂いた後、梅林を梅の香りを
楽しみながら吟行した後、抹茶・和菓子を頂きながら一句投句致しました。

にわか雨 あわてて宿る 梅見かな

梅園に 憩う二人の 笑い声

白梅の 匂いほのかに 目がうるみ

梅を愛で 長寿を願う きらく会

白梅の 香りにただよう 匠寿庵

梅の道 遅き歩みに よりそう香

梅曇り 白きすな寿長生の 郷の縁

白梅まゆいの 咲きて人の世 明るうす

微酔ふて 寿長すな生の郷さとの 梅千本

空模様 選ばず咲くや 梅うめの郷

梅香り 思い起こすは 初恋や

振り向けば 同じ高さの 梅の里

白梅の 絨毯敷きし 寿長すな生郷さと